

## 就労系サービス実態調査

### 【本調査の目的について】

社会の変化や制度改正により、障害者雇用の場は近年急速に広がっています。一方で、障害者雇用、就労支援に関する様々な問題も浮き彫りになってきました。

そこで当協会では、障害者一人ひとりのその人らしい就業生活の実現を目指すことを目的に、就労支援現場における作業療法士の活用状況やその意義等について調査し、具体的な政策提言につなげたいと考えています。

また平成 30 年度の障害福祉サービス報酬改定は、作業療法にとっても大きな転換点と考えており、本年度は報酬改定に関する要望や渉外活動の強化を図っています。

本調査では、提言や要望のための基礎資料として「就労系サービス事業所における作業療法士配置と就労実績・定着実績との関係性」を検証することとしています。作業療法士の活動実態や効果を見極める重要な調査と位置づけております。調査対象とさせていただきました事業所の皆様には、ぜひとも趣旨をご理解いただきご協力をお願い申し上げます。

皆様から得られた調査結果につきましては、当協会制度対策部障害保健福祉対策委員会の中で協議され、今後の障害者就労支援のために活用する予定です。

(注) 本調査結果は調査・研究以外に利用されることはありません。また、報告書作成等に際しましては、ご回答いただいた内容の統計的な処理を行い、個別の施設や個人が特定されることのないよう細心の注意を払います。

### 【回答について】

インターネットによる回答をお願いしております。

日本作業療法士協会ホームページ：<http://www.jaot.or.jp> からアクセスしてください。

トップページ ▶ 「会員向け情報」 TOPICS ▶ 「就労系サービス実態調査」 ▶ パスワード： \_\_\_\_\_  
パスワードを入力すると調査のページに移動します。

※ 回答内容がデータではお手元に残りませんので、本調査票は記録用としてご利用ください。

※ 質問内容は同じですが、調査ソフトの都合上、選択方式など表示が本紙と異なります。

※ 施設の作業療法士 1 名がご回答ください。施設管理システムで登録されている施設には施設情報責任者宛にお送りしていますが、他の作業療法士の方に回答いただいてもかまいません。

※ 協会に登録されている施設ごとにお送りしていますが、施設内に複数事業所がありそれぞれに作業療法士が配置されている場合は、各事業所の作業療法士が別アカウントで回答してください。

※ 1 名の作業療法士が複数の事業所に非常勤で勤務している等の場合もお手数ですが、別アカウントでの回答（別の PC もしくは、同じ PC であっても違うブラウザで開くと別アカウントになります）をお願いいたします。

※ 入力にあたり、ご不明な点がございましたら、協会事務局 [ot\\_seido@jaot.or.jp](mailto:ot_seido@jaot.or.jp) までお問い合わせください。

調査回答者氏名（作業療法士）	
----------------	--

施設基本情報

	就労移行支援	就労継続支援 A 型	就労継続支援 B 型
法人名			
事業所名			
住所			
電話番号			
mail			

**本調査は、質問の中で特に指定がない場合、平成29年7月1日時点でお答えください**

問1. 貴法人の就労系サービス事業所の人員配置に含まれている職員のうち、作業療法士資格を有している職員の有無を教えてください。

1	いる
2	いない

「2」の場合、以上で調査終了となります（問7は自由回答項目です。ご意見等ございましたら回答ください）。ご協力ありがとうございました。

「1」の場合は、引き続きご回答をお願いいたします。

問2. 貴事業所の事業形態に該当する項目を選択し、それぞれの利用者定員を教えてください。

	事業名	定員
1	就労移行支援事業（ <input type="checkbox"/> 単独型 <input type="checkbox"/> 多機能型）	名
2	就労継続支援 A 型事業（ <input type="checkbox"/> 単独型 <input type="checkbox"/> 多機能型）	名
3	就労継続支援 B 型事業（ <input type="checkbox"/> 単独型 <input type="checkbox"/> 多機能型）	名

問3. 作業療法士資格を有する職員の状況について教えてください。

	所属 (該当事業を○で囲む)	形態 (どちらか○で囲む)	常勤換算人数	作業療法士 経験年数	就労支援 経験年数	職種（※参照）
1	移行・A・B	常勤 非常勤	人	年	年	
2	移行・A・B	常勤 非常勤	人	年	年	
3	移行・A・B	常勤 非常勤	人	年	年	
4	移行・A・B	常勤 非常勤	人	年	年	
5	移行・A・B	常勤 非常勤	人	年	年	

※管理者、サービス管理責任者、就労支援員、生活支援員、職業指導員のいずれかを回答ください

問 4. 利用者のうち、障害種別で多い順番（1～7）を教えてください。

移行		身体		知的		精神		発達		高次脳		難病		その他
A型		身体		知的		精神		発達		高次脳		難病		その他
B型		身体		知的		精神		発達		高次脳		難病		その他

※重複障害の方の場合は、該当するすべての障害種別をカウントします（例：知的障害と精神障害の重複の場合、対象者は一人でも「知的1」と「精神1」がそれぞれの障害人数に加わります。その上で順位をつけて下さい。）

問 5. 平成 26～28 年度それぞれの就職者数（就職先として A 型事業所は除く）を教えてください。

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
移行支援	人	人	人
継続支援 A	人	人	人
継続支援 B	人	人	人

問 6. 平成 26 年度から平成 28 年度のそれぞれの年度の就職による退所者のうち、平成 29 年 7 月 1 日現在、同一事業所において就労が継続している者の数を教えてください。

平成 26 年度から平成 28 年度の就職による退所者のうち、平成 29 年 7 月 1 日現在、同一事業所において就労が継続している者の数		平成 26 年度に就職した者のうち就労が継続している者	平成 27 年度に就職した者のうち就労が継続している者	平成 28 年度に就職した者のうち就労が継続している者
	就労移行支援	人	人	人
	就労継続支援 A	人	人	人
	就労継続支援 B	人	人	人

問 7. 障害者就労支援における作業療法士の雇用や活用等について、ご自由にご意見を記入してください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。